【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成26年12月4日(2014.12.4)

【公開番号】特開2014-184303(P2014-184303A)
【公開日】平成26年10月2日(2014.10.2)
【年通号数】公開・登録公報2014-054
【出願番号】特願2014-92981(P2014-92981)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２９

【手続補正書】
【提出日】平成26年10月17日(2014.10.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技者が獲得し貯蓄された貯蓄遊技媒体数を遊技用記録媒体の識別情報に対応づけて管理する管理手段と通信可能であり、各遊技機に対応して配置される遊技用装置であって、
遊技者が獲得した遊技媒体を計数する計数手段と、
該計数手段が計数した遊技媒体数を記憶する計数情報記憶手段と、
前記遊技用記録媒体を受付ける受付手段と、
該受付手段が受付けている遊技用記録媒体の識別情報を前記管理手段に送信するとともに、該送信した識別情報に対応づけて前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数を特定するための情報を受信する通信手段と、
所定数の遊技媒体と所望の物品とを交換するための交換操作を受付ける交換操作受付手段と、を備え、
前記通信手段は、前記交換操作が受付けられ、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数が前記所定数未満であるときに、前記所定数未満の特定数を、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数から減算させるための減算要求を前記管理手段に送信し、
前記遊技用装置は、さらに、
前記交換操作が受付けられ、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数が前記所定数未満であるときに、前記所定数と前記特定数との差分である差分遊技媒体数を、前記計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算する差分減算手段と、
前記差分減算手段により、前記差分遊技媒体数を、前記計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算する処理が行なわれたことを特定可能に表示する差分減算表示手段とを備えることを特徴とする、遊技用装置。
【請求項２】
遊技者が獲得し貯蓄された貯蓄遊技媒体数を遊技用記録媒体の識別情報に対応づけて管理する管理手段と通信可能であり、各遊技機に対応して配置される遊技用装置であって、
遊技者が獲得した遊技媒体を計数する計数手段と、
該計数手段が計数した遊技媒体数を記憶する計数情報記憶手段と、
前記遊技用記録媒体を受付ける受付手段と、
該受付手段が受付けている遊技用記録媒体の識別情報を前記管理手段に送信するとともに、該送信した識別情報に対応づけて前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数を特定

するための情報を受信する通信手段と、
所定数の遊技媒体と所望の物品とを交換するための交換操作を受付ける交換操作受付手段と、を備え、
前記通信手段は、前記交換操作が受付けられ、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数が前記所定数未満であるときに、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数を、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数から前記所定数未満の特定数を減算した結果にしたがった貯蓄遊技媒体数となるように更新させるための更新要求を前記管理手段に送信し、
前記遊技用装置は、さらに、
前記交換操作が受付けられ、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数が前記所定数未満であるときに、前記所定数と前記特定数との差分である差分遊技媒体数を、前記計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算する差分減算手段と、
前記差分減算手段により、前記差分遊技媒体数を、前記計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算する処理が行なわれたことを特定可能に表示する差分減算表示手段とを備えることを特徴とする、遊技用装置。
【請求項３】
各遊技機に対応して配置される遊技用装置と、該遊技用装置と通信可能であり、遊技者が獲得し貯蓄された貯蓄遊技媒体数を遊技用記録媒体の識別情報に対応づけて管理する管理手段と、を備えた遊技用システムであって、
前記遊技用装置は、
遊技者が獲得した遊技媒体を計数する計数手段と、
該計数手段が計数した遊技媒体数を記憶する計数情報記憶手段と、
前記遊技用記録媒体を受付ける受付手段と、
所定数の遊技媒体と所望の物品とを交換するための交換操作を受付ける交換操作受付手段と、を含み、
前記遊技用装置は、前記交換操作が受付けられ、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数が前記所定数未満であるときに、前記所定数未満の特定数を、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数から減算させるための減算要求を前記管理手段に送信し、
前記遊技用装置は、さらに、前記交換操作が受付けられ、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数が前記所定数未満であるときに、前記所定数と前記特定数との差分である差分遊技媒体数を、前記計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算する差分減算手段を含み、
前記管理手段は、前記送信されてきた減算要求に基づいて、前記遊技用装置の前記受付手段が受付けた遊技用記録媒体の識別情報に対応づけて管理している貯蓄遊技媒体数から前記減算要求に対応する遊技媒体数を減算する交換遊技媒体数減算手段を含み、
前記差分減算手段により、前記差分遊技媒体数を、前記計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算する処理が行なわれたことを特定可能に表示する差分減算表示手段をさらに備えることを特徴とする、遊技用システム。
【請求項４】
各遊技機に対応して配置される遊技用装置と、該遊技用装置と通信可能であり、遊技者が獲得し貯蓄された貯蓄遊技媒体数を遊技用記録媒体の識別情報に対応づけて管理する管理手段と、を備えた遊技用システムであって、
前記遊技用装置は、
遊技者が獲得した遊技媒体を計数する計数手段と、
該計数手段が計数した遊技媒体数を記憶する計数情報記憶手段と、
前記遊技用記録媒体を受付ける受付手段と、を含み、
前記管理手段は、前記遊技用装置の前記受付手段が受付けた遊技用記録媒体の識別情報に対応づけて管理している貯蓄遊技媒体数を特定するための情報を前記遊技用装置に送信し、
前記遊技用装置は、さらに、所定数の遊技媒体と所望の物品とを交換するための交換操

作を受付ける交換操作受付手段を含み、
前記遊技用装置は、前記交換操作が受付けられ、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数が前記所定数未満であるときに、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数を、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数から前記所定数未満の特定数を減算した減算結果にしたがった貯蓄遊技媒体数となるように更新させるための更新要求を前記管理手段に送信し、
前記遊技用装置は、さらに、前記交換操作が受付けられ、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数が前記所定数未満であるときに、前記所定数と前記特定数との差分である差分遊技媒体数を、前記計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算する差分減算手段を含み、
前記管理手段は、前記送信されてきた更新要求に基づいて、前記遊技用装置の前記受付手段が受付けた遊技用記録媒体の識別情報に対応づけて管理している貯蓄遊技媒体数を前記減算結果にしたがった貯蓄遊技媒体数となるように更新する遊技媒体数更新手段を含み、
前記差分減算手段により、前記差分遊技媒体数を、前記計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算する処理が行なわれたことを特定可能に表示する差分減算表示手段をさらに備えることを特徴とする、遊技用システム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
（１）　遊技者が獲得し貯蓄された貯蓄遊技媒体数を遊技用記録媒体（たとえば、会員カード）の識別情報に対応づけて管理する管理手段（たとえば、管理コンピュータ１５０）と通信可能であり、各遊技機に対応して配置される遊技用装置（たとえば、カードユニット３）であって、
遊技者が獲得した遊技媒体を計数する計数手段（たとえば、計数・端数払出ユニット３４０）と、
該計数手段が計数した遊技媒体数を記憶する計数情報記憶手段（たとえば、図２１のＳＳ４）と、
前記遊技用記録媒体を受付ける受付手段（たとえば、カードリーダライタ３２７）と、
該受付手段が受付けている遊技用記録媒体の識別情報を前記管理手段に送信するとともに、該送信した識別情報に対応づけて前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数を特定するための情報を受信する通信手段（たとえば、通信部３３４、図２７のＳｔ３、Ｓｔ６）と、
所定数の遊技媒体と所望の物品とを交換するための交換操作を受付ける交換操作受付手段（たとえば、図３１と図３９のＳｒ２）と、を備え、
前記通信手段は、前記交換操作が受付けられ、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数が前記所定数未満であるときに、前記所定数未満の特定数を、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数から減算させるための減算要求を前記管理手段に送信し（たとえば、図３２と図４０のＳｒ１６でセットされた玉数をＳｒ１９で送信する）、
前記遊技用装置は、さらに、
前記交換操作が受付けられ、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数が前記所定数未満であるときに（たとえば、図３２のＳｒ１０でＮＯ、図４０のＳｒ１０ａでＮＯ）、前記所定数と前記特定数との差分である差分遊技媒体数を、前記計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算する差分減算手段（たとえば、図３２のＳｒ１２、図４０のＳｒ１２ａ）と、
前記差分減算手段により、前記差分遊技媒体数を、前記計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算する処理が行なわれたことを特定可能に表示する差分減算表示手

段（たとえば、図３２と図４４のＳｒ１５、図４０のＳｒ１５ａ）とを備えることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
このような構成によれば、交換操作が受付けられ、管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数がその物品の交換に必要となる所定数未満であるときに、所定数と当該所定数未満の特定数との差分である差分遊技媒体数が、計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算されるため、管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数を優先的に物品の交換に使用して差分遊技媒体数だけ計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算されることとなり、一般的に言って手数料のかからない遊技媒体である計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体が、極力温存されて遊技に使用できるようになる。その結果、管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数の遊技使用に対して現時点で手数料を徴収している遊技場においては遊技者にとって有利となり、また、管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数の遊技使用に対して現時点ではまだ手数料を徴収していない遊技場においては、将来手数料を徴収するようになった時点で遊技者にとって有利となる。また、このような構成によれば、差分遊技媒体数を減算する処理を行なったことが特定可能に表示されるために、遊技者がその旨を容易に認識でき、遊技者の認識と減算処理との齟齬が生ずる不都合を極力防止することができる。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
（２）　遊技者が獲得し貯蓄された貯蓄遊技媒体数を遊技用記録媒体（たとえば、会員カード）の識別情報に対応づけて管理する管理手段（たとえば、管理コンピュータ１５０

）と通信可能であり、各遊技機に対応して配置される遊技用装置（たとえば、カードユニット３）であって、
遊技者が獲得した遊技媒体を計数する計数手段（たとえば、計数・端数払出ユニット３４０）と、
該計数手段が計数した遊技媒体数を記憶する計数情報記憶手段（たとえば、図２１のＳＳ４）と、
前記遊技用記録媒体を受付ける受付手段（たとえば、カードリーダライタ３２７）と、
該受付手段が受付けている遊技用記録媒体の識別情報を前記管理手段に送信するとともに、該送信した識別情報に対応づけて前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数を特定するための情報を受信する通信手段（たとえば、通信部３３４、図２７のＳｔ３、Ｓｔ６）と、
所定数の遊技媒体と所望の物品とを交換するための交換操作を受付ける交換操作受付手段（たとえば、図４４のＳｒ２）と、を備え、
前記通信手段は、前記交換操作が受付けられ、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数が前記所定数未満であるときに、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数を、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数から前記所定数未満の特定数を減算した結果にしたがった貯蓄遊技媒体数となるように更新させるための更新要求を前記管理手段に送信し（たとえば、図４４のＳｒ１６ｂで０にセットされた新貯玉数と新持玉数とをＳｒ１９ｂで送信する）、
前記遊技用装置は、さらに、
前記交換操作が受付けられ、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数が前記所定数未満であるときに（たとえば、図４４のＳｒ１０ｂでＮＯ）、前記所定数と前記特定数との差分である差分遊技媒体数を、前記計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算する差分減算手段（たとえば、図４４のＳｒ１５）と
前記差分減算手段により、前記差分遊技媒体数を、前記計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算する処理が行なわれたことを特定可能に表示する差分減算表示手段（たとえば、図３２と図４４のＳｒ１５、図４０のＳｒ１５ａ）とを備えることを特徴とする。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
このような構成によれば、交換操作が受付けられ、貯蓄遊技媒体数がその物品の交換に必要となる所定数未満であるときに、所定数と当該所定数未満の特定数との差分である差分遊技媒体数が、計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算されるため、貯蓄遊技媒体数を優先的に物品の交換に使用して差分遊技媒体数だけ計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算されることとなり、一般的に言って手数料のかからない遊技媒体である計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体が、極力温存されて遊技に使用できるようになる。その結果、貯蓄遊技媒体数の遊技使用に対して現時点で手数料を徴収している遊技場においては遊技者にとって有利となり、また、貯蓄遊技媒体数の遊技使用に対して現時点ではまだ手数料を徴収していない遊技場においては、将来手数料を徴収するようになった時点で遊技者にとって有利となる。また、このような構成によれば、差分遊技媒体数を減算する処理を行なったことが特定可能に表示されるために、遊技者がその旨を容易に認識でき、遊技者の認識と減算処理との齟齬が生ずる不都合を極力防止することができる。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６

【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
（３） 各遊技機に対応して配置される遊技用装置（たとえば、カードユニット３）と、該遊技用装置と通信であり、遊技者が獲得し貯蓄された貯蓄遊技媒体数を遊技用記録媒体（たとえば、会員カード）の識別情報に対応づけて管理する管理手段（たとえば、管理コンピュータ１５０）と、を備えた遊技用システムであって、
前記遊技用装置は、
遊技者が獲得した遊技媒体を計数する計数手段（たとえば、計数・端数払出ユニット３４０）と、
該計数手段が計数した遊技媒体数を記憶する計数情報記憶手段（たとえば、図２１のＳＳ４）と、
前記遊技用記録媒体を受付ける受付手段（たとえば、カードリーダライタ３２７）と、
所定数の遊技媒体と所望の物品とを交換するための交換操作を受付ける交換操作受付手段（たとえば、図３１、図３９のＳｒ２）と、を含み、
前記遊技用装置は、前記交換操作が受付けられ、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数が前記所定数未満であるときに、前記所定数未満の特定数を、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数から減算させるための減算要求を前記管理手段に送信し（たとえば、図３２と図４０のＳｒ１６でセットされた玉数をＳｒ１９で送信）、
前記遊技用装置は、さらに、前記交換操作が受付けられ、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数が前記所定数未満であるときに（たとえば、図３２のＳｒ１０でＮＯ、図４０のＳｒ１０ａでＮＯ）、前記所定数と前記特定数との差分である差分遊技媒体数を、前記計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算する差分減算手段（たとえば、図３２のＳｒ１２、図４０のＳｒ１２ａ）を含み、
前記管理手段は、前記送信されてきた減算要求に基づいて、前記遊技用装置の前記受付手段が受付けた遊技用記録媒体の識別情報に対応づけて管理している貯蓄遊技媒体数から前記減算要求に対応する遊技媒体数を減算する交換遊技媒体数減算手段（たとえば、図３３のＳｒ２５～Ｓｒ２９、図４０のＳｒ２０ａ）（図４０のＳｒ１６でセットされた玉数（Ｋ－Ｊ）すなわち、全貯玉数がＳｒ２０ａで減算される）を含み、

前記差分減算手段により、前記差分遊技媒体数を、前記計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算する処理が行なわれたことを特定可能に表示する差分減算表示手段（たとえば、図３２と図４４のＳｒ１５、図４０のＳｒ１５ａ）をさらに備えることを特徴とする。

【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
このような構成によれば、交換操作が受付けられ、管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数がその物品の交換に必要となる所定数未満であるときに、所定数と当該所定数未満の特定数との差分である差分遊技媒体数が、計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算されるため、管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数を優先的に物品の交換に使用してその差分遊技媒体数だけ計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算されることとなり、一般的に言って手数料のかからない遊技媒体である計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体が、極力温存されて遊技に使用できるようになる。その結果、管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数の遊技使用に対して現時点で手数料を徴収している遊技場においては遊技者にとって有利となり、また、管理手段が管理している遊技媒体数の遊技使用に対して現時点ではまだ手数料を徴収していない遊技場においては、将来手数料を徴収するようになった時点で遊技者にとって有利となる。また、このような構成によれば、差分遊技媒体数を減算する処理を行なったことが特定可能に表示されるために、遊技者がその旨を容易に認識でき、遊技者の認識と減算処理との齟齬が生ずる不都合を極力防止することができる。

【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】

（４）　各遊技機に対応して配置される遊技用装置（たとえば、カードユニット３）と、該遊技用装置と通信可能であり、遊技者が獲得し貯蓄された貯蓄遊技媒体数を遊技用記録媒体（たとえば、会員カード）の識別情報に対応づけて管理する管理手段（たとえば、管理コンピュータ１５０）と、を備えた遊技用システムであって、

前記遊技用装置は、

遊技者が獲得した遊技媒体を計数する計数手段（たとえば、計数・端数払出ユニット３４０）と、

該計数手段が計数した遊技媒体数を記憶する計数情報記憶手段（たとえば、図２１のＳＳ４）と、

前記遊技用記録媒体を受付ける受付手段（たとえば、カードリーダライタ３２７）と、

を含み、

前記管理手段は、前記遊技用装置の前記受付手段が受付けた遊技用記録媒体の識別情報に対応づけて管理している貯蓄遊技媒体数を特定するための情報を前記遊技用装置に送信し（たとえば、図２７のＳｔ３）、

前記遊技用装置は、さらに、所定数の遊技媒体と所望の物品とを交換するための交換操作を受付ける交換操作受付手段（たとえば、図４４のＳｒ２）を含み、

前記遊技用装置は、前記交換操作が受付けられ、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数が前記所定数未満であるときに、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数を、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数から前記所定数未満の特定数を減算した減算結果にしたがった貯蓄遊技媒体数となるように更新させるための更新要求を前記管理手段に送信し（たとえば、図４４のＳｒ１６ｂで０にセットされた新貯玉数と新持玉数とをＳｒ１９ｂで送信し）、

前記遊技用装置は、さらに、前記交換操作が受付けられ、前記管理手段が管理している貯蓄遊技媒体数が前記所定数未満であるときに、前記所定数と前記特定数との差分である差分遊技媒体数を、前記計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算する差分減算手段（たとえば、図４４のＳｒ１５）を含み、

前記管理手段は、前記送信されてきた更新要求に基づいて、前記遊技用装置の前記受付手段が受付けた遊技用記録媒体の識別情報に対応づけて管理している貯蓄遊技媒体数を前記減算結果にしたがった貯蓄遊技媒体数となるように更新する遊技媒体数更新手段（たとえば、図４５のＳｒ３５～Ｓｒ３９）（たとえば、図４６のＳｒ４５、Ｓｒ４６）を含み、

前記差分減算手段により、前記差分遊技媒体数を、前記計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算する処理が行なわれたことを特定可能に表示する差分減算表示手段（たとえば、図３２と図４４のＳｒ１５、図４０のＳｒ１５ａ）をさらに備えることを特徴とする。

【手続補正２１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】

このような構成によれば、交換操作が受付けられ、貯蓄遊技媒体数がその物品の交換に必要となる所定数未満であるときに、所定数と当該所定数未満の特定数との差分である差分遊技媒体数が、計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算されるため、貯蓄遊技媒体数を優先的に物品の交換に使用してその差分遊技媒体数だけ計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体数から減算されることとなり、一般的に言って手数料のかからない遊技媒体である計数情報記憶手段が記憶している遊技媒体が、極力温存されて遊技に使用できるようになる。その結果、貯蓄遊技媒体数の遊技使用に対して現時点で手数料を徴収している遊技場においては遊技者にとって有利となり、また、貯蓄遊技媒体数の遊技使用

に対して現時点ではまだ手数料を徴収していない遊技場においては、将来手数料を徴収するようになった時点で遊技者にとって有利となる。また、このような構成によれば、差分遊技媒体数を減算する処理を行なったことが特定可能に表示されるために、遊技者がその旨を容易に認識でき、遊技者の認識と減算処理との齟齬が生ずる不都合を極力防止することができる。

【手続補正２２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０３８４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０３８４】
前述のＳｒ１７～Ｓｒ１９およびＳｒ２１の通信シーケンスは、図２８におけるＳｔ４０～Ｓｔ４２、Ｓｔ４４の、再プレイ処理における通信シーケンスと同じシーケンスが用いられている。なお、同じシーケンスとは、貯玉、持玉から減算する優先順序は異なるが、管理コンピュータ１５０とカードユニット３との間の通信のシーケンスのみが同じという意味である。
【手続補正２７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０３９８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０３９８】
次にＳｅ２０により貯玉更新開始通知が管理コンピュータ１５０へ送られ、管理コンピュータ１５０のＣＰＵ１５２は、Ｓｅ２１により貯玉減算開始応答をＰＯＳ端末１７０へ返信する。これを受けたＰＯＳ端末１７０のＣＰＵ１７２は、Ｓｅ２２により、貯玉減算要求を管理コンピュータ１５０へ送信する。この貯玉減算要求は、Ｓｅ１９によりセットされたＫ玉のデータを含んでおり、これらデータが貯玉減算要求とともに管理コンピュータ１５０へ送信される。それを受けた管理コンピュータ１５０のＣＰＵ１５２は、Ｓｅ２３により、Ｋ玉の引落処理を行なった後、Ｓｅ２４により、貯玉減算応答をＰＯＳ端末１７０へ返信する。ＰＯＳ端末１７０のＣＰＵ１７２は、その後Ｓｅ２５により、在席交換

フラグを「０」に更新する処理を実行する。なお、Ｓｅ２０～Ｓｅ２２およびＳｅ２４の通信シーケンスは、図２８におけるＳｔ４０～Ｓｔ４２、Ｓｔ４４の、再プレイ処理における通信シーケンスと同じシーケンスが用いられている。なお、同じシーケンスとは、貯玉、持玉から減算する優先順序は異なるが、管理コンピュータ１５０とカードユニット３との間の通信のシーケンスのみが同じという意味である。

【手続補正２８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０４０７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０４０７】
　これを受けた管理コンピュータ１５０のＣＰＵ１５２は、Ｓｒ２０ａにより、セットされた玉数を貯玉数から引落す処理を行なう。次にＳｒ２１により、貯玉減算応答がカードユニット３へ返信される。このＳｒ１７～Ｓｒ１９およびＳｒ２１の通信シーケンスは、図２８におけるＳｔ４０～Ｓｔ４２、Ｓｔ４４の、再プレイ処理における通信シーケンスと同じシーケンスが用いられている。なお、同じシーケンスとは、貯玉、持玉から減算する優先順序は異なるが、管理コンピュータ１５０とカードユニット３との間の通信のシーケンスのみが同じという意味である。

【手続補正２９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０４２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０４２１】
　前述のＳｒ１７ｂ～Ｓｒ１９ｂおよびＳｒ２１ｂの通信シーケンスは、図２８におけるＳｔ４０～Ｓｔ４２、Ｓｔ４４の、再プレイ処理における通信シーケンスと同じシーケンスが用いられている。なお、同じシーケンスとは、貯玉、持玉から減算する優先順序は異なるが、管理コンピュータ１５０とカードユニット３との間の通信のシーケンスのみが同じという意味である。